

01

5月 2016

わたしは裸で母の胎をでた。裸でそこに帰ろう。主は与え、主は奪う。

by NCM2 CHOIR

全5page



13年ぶりで再会した、クリスチャンのお友達のお宅の玄関です。電気をつけるとこのように十字架になります。先日日本に行ったときに、この名古屋のお宅にお邪魔しました。

私はアメリカで片付け魔の彼女と一緒に教会生活を送っているときに「冷蔵庫の上に置いていいのは、プラントだけよ。飾り以外のものは外に出しておかないこと」と特訓を受けました。その特訓は少しはその後の私の生活に奏を奏でたようです。

ご覧ください。この居間と玄関の間の赤い十字架のドアもすてきですが、テーブルの上に何も置いてないのです。



テレビの下にある戸袋はお客さんがもってきたハンドバッグなどを置く空間です。ですから、手荷物が見苦しく景観をそこねることがありません。

遊びにくるお孫さんのための小さな小屋もありますが、すっきりしています。



またこのお宅は新しく建てたこともあり、このように炊飯器さえも収納することができます。



その二日後に神戸のコイノニア福音教会を訪ねました。



入り口を入るとすぐ右手にコーヒールームがありました。



このコーヒールームにも何も置いてないのです。

白くてすっきりした空間でした。ここは、一杯100円のコーヒーを飲みながら、祈ったり、聖書の疑問を聞いたりする場所のようです。



その隣がキッチンでしたが、このキッチンのカウンターにも、何も余計な物が置いてないのです。そのため飾ってあるガラテヤ書の御言葉がひきたちました。



私達は3年前に引っ越したとき、天国には何も持っていけないのだからとかなり、物を捨てましたが、まともやふえつつあります。

冒頭の御言葉 **ヨブ記 1:21** を思い起こして、家に帰ったら、この友人宅やコイノニア教会のようにすっきりさせるために物を捨てようという思いにさせられ、帰米してから捨てだしました。

さてどのくらい捨てられるでしょう。この世の物にどのくらい私が執着しているかが問われます。

竹下弘美

